

SUZUKA Sound of ENGINE 2019

世界を席巻したモンスター グループC走行車両決定

株式会社タミヤがコレクションするTyrrell P34の展示も決定

鈴鹿サーキットに“2台”の6輪F1「タイレルP34」が集う

株式会社モビリティランドは、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて、2019年11月16日(土)・17日(日)に「SUZUKA Sound of ENGINE 2019」を開催いたします。鈴鹿サーキットは、モータースポーツの歴史的価値を絶やすことなく維持し続けるために、歴史に加え、現代から未来にスポットライトを当て、本イベントを開催してまいります。本イベントにおいて、1980年代、90年代に、メーカーの威信をかけて開発されたグループCの走行車両が決定しましたので、ご案内いたします。

今年の「SUZUKA Sound of ENGINE 2019」では、Tyrrell P34を所有する元F1ドライバーのピエル＝ルイジ・マルティニ氏自らがドライブし、誰よりもTyrrell P34を良く知るマルティニ氏が「シックスホイーラー」のドライブフィールを語ります。また、株式会社タミヤがコレクションするTyrrell P34も、SUZUKA Sound of ENGINEに登場が決定。カラーリングの異なる2台のTyrrell P34が揃う、非常に貴重な機会です。なお、株式会社タミヤ所蔵のTyrrell P34は、国際レーシングコース内、センターハウスにて展示予定です。

走行が決定したグループC車両



1985年 TOYOTA 85CL



1986年 NISSAN R86V



1988_Porsche 962C ADVAN Alpha NOVA



1989_MAZDA 767B



1991_NISSAN R91CP



Tyrrell P34展示概要

展示日時: 2019年11月16日(土)、17日(日) ※時間は決定次第ご案内いたします

展示場所: 鈴鹿サーキット国際レーシングコース パドック内 センターハウス2F

観覧料金: 無料

※展示エリアにご入場するには、「SUZUKA Sound of ENGINE 2019」観戦券が必要です (パドック“プラス”などのオプションチケットは不要です)

協力: 株式会社タミヤ